



一般社団法人 日本病理学会  
 〒101-0041  
 東京都千代田区神田須田町 2-17  
 神田 IN ビル 6 階  
 TEL: 03-6206-9070  
 FAX: 03-6206-9077  
 E-mail: jsp.office@pathology.or.jp  
 https://pathology.or.jp

1. 「診断病理」完全オンライン化に伴う冊子体廃止についてのお知らせ

2026 年 5 月 28 日

一般社団法人 日本病理学会

理事長 小田 義直

「診断病理」編集長 池田純一郎

この度、「診断病理」は、来春(2027年4月刊行の Vol. 44 No. 2)より冊子体を廃止し、完全オンライン化することが、2026年3月6日の理事会にて決定いたしました。会員の皆様におかれましては、以下の点にご留意いただけますと幸いです。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

- ・「診断病理」Vol. 44 No. 2 (2027 年 4 月号) より完全オンライン化に伴い、冊子体を廃止いたします。
- ・各号、現在の冊子体刊行時期と同時期に J-STAGE へ掲載いたします。※ DOI 付与あり、オープンアクセス
- ・J-STAGE への掲載料は学会負担です。著者の先生方のご負担がゼロになります。別刷の作成は廃止となります。
- ・冊子体廃止に伴い、同誌に掲載している病理専門医部会報につきましては、PDF 版を日本病理学会 HP へ掲載する形式のみとなります。
- ・著者の方は、下記リンクより「投稿規定」「症例報告における患者情報保護に関する指針」「投稿に際しての注意事項」について、今一度ご確認ください。  
 投稿規定 (2026 年 5 月 28 日一部改訂)  
[https://www.pathology.or.jp/kankoubutu/pdf/20260528jjdp\\_toukougitei.pdf](https://www.pathology.or.jp/kankoubutu/pdf/20260528jjdp_toukougitei.pdf)  
 症例報告における患者情報保護に関する指針  
<https://pathology.or.jp/jigyoushishin/guideline-20011126.html>  
 投稿に際しての注意事項 (2025 年 2 月 21 日一部改訂)  
[https://www.pathology.or.jp/kankoubutu/pdf/toukougitei\\_note\\_20250221.pdf](https://www.pathology.or.jp/kankoubutu/pdf/toukougitei_note_20250221.pdf)  
 「診断病理」投稿・閲覧はこちらから  
<https://pathology.or.jp/kankoubutu/jour-jjdp.html>

2. 第 115 回総会 (札幌) 終了

令和 8 年 4 月 16 日 (木) ~ 18 日 (土) まで、北海道大学の田中伸哉会長のもとグランドメルキュール札幌大通公園ならびに札幌市教育文化会館にて開催された第 115 回総会は盛会のうちに終了いたしました。なお、6 月 30 日 (火) 正午まで講習会と一部セッションのオンデマンド配信を完

施しております。詳細は総会 HP をご確認ください。

参照 HP: <https://www.congre.co.jp/115jsp/>

3. 令和 8 年度定時社員総会報告

令和 8 年 4 月 16 日 (木) 開催の令和 8 年度定時社員総会 (グランドメルキュール札幌大通公園 3F ボールルーム ABC) において、標記の件が以下の通り承認されました。

(1) 令和 8/9 年度役員選任について

同定時社員総会において標記役員ならびに理事長が選任されました。任期は同日から令和 10 年定時社員総会 (第 117 回大阪) までです。

○理事: 20 名

- |             |       |
|-------------|-------|
| 全国区選出理事/理事長 | 小田 義直 |
| 全国区選出理事     | 森井 英一 |
| 全国区選出理事     | 田中 伸哉 |
| 全国区選出理事     | 佐々木 毅 |
| 全国区選出理事     | 都築 豊徳 |
| 全国区選出理事     | 金井 弥栄 |
| 全国区選出理事     | 伊藤 智雄 |
| 全国区選出理事     | 中黒 匡人 |
| 全国区選出理事     | 笹島ゆう子 |
| 全国区選出理事     | 福嶋 敬宜 |
| 全国区選出理事     | 藤井 誠志 |
| 口腔部会長/理事    | 石丸 直澄 |
| 北海道支部長/理事   | 樋田 京子 |
| 東北支部長/理事    | 大森 泰文 |
| 関東支部長/理事    | 長尾 俊孝 |
| 関東支部選出理事    | 矢持 淑子 |
| 中部支部長/理事    | 宮崎 龍彦 |
| 近畿支部長/理事    | 吉澤 明彦 |
| 中国・四国支部長/理事 | 増本 純也 |
| 九州・沖縄支部長/理事 | 久岡 正典 |

○監事: 2 名

- |    |       |
|----|-------|
| 監事 | 伴 慎一  |
| 監事 | 谷本 昭英 |

(2) 令和 7 年度収益事業会計収支決算について

同定時社員総会において、令和 7 年度収益事業会計収支決算が承認されました。

正味財産増減計算書（収益事業分）

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科目	収益事業合計
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	0
特定資産運用益	0
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	0
学術評議員受取会費	0
一般会員受取会費	0
終身会員受取会費	0
病理専門医部会費	0
海外会員年会費	0
事業収益	84,497,669
学術集会収益（展示会セミナー収益）	80,621,000
賠償保険事務収益	3,876,669
受取委託収益	0
受取委託収益	0
受取補助金等	0
受取寄付金	0
受取寄附金	0
雑収益	11,597,732
受取利息	52,298
PIロイヤリティ	9,101,834
著作権使用料	67,600
不動産使用収益	2,376,000
経常収益計	96,095,401
(2) 経常費用	
事業費	88,089,552
旅費交通費	1,500
通信運搬費	0
消耗品費	41,800
印刷製本費	9,500,000
賃借料	0
委託費	0
支払手数料	267,560
学術集會会場費	14,609,104
学術集會設営費	31,714,671
学術集會人件費	5,052,553
学術集會業務委託費	3,101,609
学術集會広告費	0
学術集會印刷費	1,522,825
学術集會会議費	0
学術集會WEB開催費用	2,632,629
学術集會通信運搬費	0
学術集會諸費用	19,645,301
管理費	2,056,675
給与手当	316,177
消耗品費	7,000
法定福利費	48,670
光熱水料費	72,485
賃借料	1,059,564
租税公課	463,100
委託費	89,679

経常費用計	90,146,227
評価損益等調整前当期経常増減額	5,949,174
法人税等	1,028,100
当期経常増減額	4,921,074

(3) 名誉会員の推戴について

同定時社員総会において、以下の7名が令和8年度新名誉会員に推戴されました（敬称略・ABC順）。

北川 昌伸 鍋島 一樹 野口 雅之  
 落合 淳志 笹野 公伸 堤 寛  
 吉野 正

(4) 功労会員の推戴について

同定時社員総会において、以下の37名が令和8年度新功労会員に推戴されました（敬称略・ABC順）

安彦 善裕 馬場 聡 古川 徹 細川 昌則  
 今村 好章 井上 孝 石澤 伸 伊藤 由美  
 伊藤 浩史 鴨志田伸吾 河原 邦光 川島 篤弘  
 木村 雅友 北澤 莊平 近藤 英作 九嶋 亮治  
 李 康弘 増田しのぶ 松熊 晋 物部 泰昌  
 長嶋 洋治 能登原憲司 齊藤 啓 坂元 亨宇  
 佐藤 雄一 清水 章 田島 康夫 高橋 啓  
 竹田 雅司 竹内 保 谷澤 徹 寺村 一裕  
 豊國 伸哉 上杉 憲子 梅澤 明弘 山田 健人  
 弓場 吉哲

(5) 学術評議員の承認について

同定時社員総会において、以下の72名が令和8年度新学術評議員として承認されました（敬称略・ABC順）。

赤羽 俊章 秋谷 昌史 安藤 純世 浅井 沙月  
 藤井慶一郎 藤本 真央 深川 彰彦 魏 峻洸  
 箱崎 眞結 原田丈太郎 原嶋 祥吾 橋本 克訓  
 日比谷孝志 井口みつこ 飯田 俊 飯塚 徳重  
 伊丹 弘恵 伊藤 歩美 岩元 竜太 角田 優子  
 加島 淳平 加藤 寛之 川村 和弘 河原 明奈  
 岸川さつき 北原 大地 木脇 拓道 小林 靖幸  
 児玉 貴之 小池 千尋 鯉沼 代造 國枝 純子  
 及能 大輔 李 治平 益田紗季子 松永 絢乃  
 峰 宗太郎 三宅美佐代 守田 玲菜 松村 舞依  
 長野菜穂子 長瀬真実子 長瀬 駿介 中川 涼太  
 中里 信一 西村 優基 野呂瀬朋子 野浦 郁恵  
 小田 義崇 大館 徹 小形 岳寛 大石 琢磨  
 岡 直美 岡 佑香 大野 淳也 小野早和子  
 塩原 正規 小路口奈帆子 杉野 弘和 杉山 朋子  
 高松 学 武田奈央子 滝 哲郎 田中 淳  
 戸井 慎 津田 昇 辻 賢太郎 内海 由貴  
 山田 匠希 山田 侑子 山崎 文子 山澤 翔

(6) 第74回秋期特別総会会長選出について

同時社員総会において、以下候補者が第74回（令和10年度）秋期特別総会会長として承認されました。

原田 憲一

（金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理）

(7) 第118回総会会長選出について

同時社員総会において、以下候補者が第118回（令和11年度）総会会長として承認されました。

久岡 正典

（業医科大学医学部第1病理学）

4. 日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞授賞式の御報告

病理医・研究医の育成とリクルート委員会  
委員長 宮崎 龍彦

病理学の健全な発展のためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤となる病理学研究も診断の修練と同様に大いに推進する必要があります。しかるに昨今の若手医師における研究指向者の激減は憂慮すべき問題です。この問題を少しでも解決するために、日本病理学会創立100周年記念事業の一環として、日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞が、医師・歯科医師で36歳以下の病理学関連講座大学院博士課程在籍者（MD/PhDコースの大学院博士課程在籍者も含む）を対象として平成23年度から設けられました。

令和7年度は12名の応募者があり、8名が1次審査を通過し2次審査に臨みました。第115回日本病理学会総会第1日目午前に2次審査を実施し、以下の3名のみなさんの受賞が決定しました。ますますの研究の発展を祈念します。今年残念ながら落選されたみなさんも、また新たな仕事の進展があった大学院生のみなさんも、来年横浜では是非挑戦していただきますようお願いいたします。



令和7年度受賞者（写真左は田中伸哉会長，右は小田義直理事長）

内藤 裕（名古屋大学）HTLV-1キャリアにATLL以外のT細胞リンパ腫は生じる - 厳密な証明と日常診断における鑑別法 -

前田 勇貴（名古屋大学）病理学的観点から明らかにする酸化ストレスとがん

長瀬 駿介（東海大学）FFPEを用いた包括的解析によるEBV陽性B細胞リンパ腫の再定義

5. 第15回ゲノム病理標準化講習会について

会期：2026年7月1日（水）10:00から7月31日（金）23:59

申込期間：2026年4月24日（金）13:00から7月25日（土）23:59

開催方式：オンデマンド配信

<https://www.pathology.or.jp/news/members/seminar/genome-seminar20260701-31.html>

6. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

武内 利直 功労会員（令和7年9月21日ご逝去）

仙崎 英人 功労会員（令和8年5月8日ご逝去）